

内容解説資料

巻頭

防災ボトルの紹介

じっきょう 家庭科資料  
(通巻 84 号)

みんなで家庭科を

No. 69

## も く じ /

防災ボトルの紹介 .....	1
“やさしいせいふく” に応援されて .....	4
おにぎりのススメ .....	8

## 防災ボトルの紹介

じっきょう家庭科資料編修部  
取材協力：警視庁警備部災害対策課

2022（令和4）年4月、警視庁警備部災害対策課の公式ツイッター（@MPD\_bousai）は、持ち運びに便利な「防災ボトル」を提案しました。反響が大きいという報道もあり、警視庁警備部災害対策課へ取材しましたので、その内容を紹介させていただきます。

## 1. 「防災ボトル」とは？

「防災ボトル」とは、透明のプラスチックでつくられた、市販されている飲料水用のボトルに災害時に必要なグッズを入れたものです。ツイッターで紹介したものは、「ウォーターボトル」（500 ml、100 円 shop などで購入可能）を使用しています。グッズをコンパクトに収納したかったので、飲料水用ボトルにしました。いわゆるペットボトルでは口が小さく、物を入れたり出したりするのが難しいので、口が大きいものを選ぶと便利です。

「防災ボトル」に入れるグッズの一例としては、ホイッスル、圧縮タオル、エチケツ袋、ミニライト、ビニール袋、常備薬、絆創膏、アルコール消毒液、ようかん、現金などです。災害に遭遇したときに、急場をしのぐために必要なものや、応急措置に必要なものを想定するとよいでしょう。



【防災ボトル（中に詰めた状態）】



【防災ボトル（中のものを取り出した状態）】

ようかんを入れているのは、食事ができない状況の時に命をつなぐためです。カロリーもあり、水がなくても食べやすいと思います。もちろん各自で工夫していただいてもかまいません。健康食でもいいのですが、保存がきいて食べやすいもののほうが良いかと思います。もちろん好きなものでけっこうです。

現金を入れるのは、災害時に小銭がなくて困ることがないように、また緊急に買いたいものがあるときのためです。予備のお金としてお考え下さい。災害時には何が起るかわかりません。スマホの電子決済は災害時に使えなくなる恐れもあります。携帯電話もつながりにくくなるので、公衆電話用に小銭があると便利です。東日本大震災の時はお店の方でお釣りが準備できなかった事例もあります。

### 2. 「防災ボトル」の利点とは？

コンパクトに収納できる点ではないかと思えます。また、ウォーターボトルですので、かばんやバッグに入れてもつぶれにくいという利点もあります。ウォーターボトルではなくポーチを使うと、中に入れてあるものがつぶれてしまう可能性があります。ウォーターボトルだと比較的頑丈に出来ていますので、そのような心配はありません。また、ボトル自体 100 円 shop などでも手軽に入手できますので、簡単に「防災ボトル」をつくることができます。中を空にすれば、水の配給の時にも使用できます。自分にとって何が必要になるか、災害時にどうということが起るかなどを考えるきっかけにもなる

のではないのでしょうか。

私たち警視庁警備部災害対策課では、それまではポーチのようなものに一式入れていましたが、膨らんだり、カバンの中で場所を取ったりするので、もう少しコンパクトにしようと考え、2022（令和 4）年 3 月にウォーターボトルでつくってみました。

### 3. ツイートで紹介したきっかけや理由について

この「防災ボトル」は、警視庁警備部災害対策課が独自に作成したオリジナルのものではありません。通信販売でも似たような防災グッズを販売しています。世の中で知られている防災に関係しているものを実際に試してみて、お勧めしたいものを紹介しようとツイートで発信することになっています。

ツイートそのものは、2013（平成 25）年 1 月に開始しました。きっかけは 2011 年の東日本大震災です。災害時の混乱の中で、みなさんが実際に必要としている情報を警視庁としてタイムリーに発信していくにはどうすればよいかと災害対策課で話し合っていました。その話し合いで、災害時でも比較的通信が良いとされる SNS を活用しよう、特に拡散力の高いツイッターで発信しようということになりました。

大規模な災害が発生したときに、警視庁警備部災害対策課のアカウントから正しい情報を発信して、フォロワーの方々の力によってその情報が拡散されていく、ということを目的に始めたというのがきっかけです。

災害は毎日起きているわけではありませんので、防災や災害に関するツイートを日々発信して、一人でも多くの方に防災意識を持っていただき、防災力を高めていただくことも目的としています。災害が発生したときはもちろん、普段からこのような「防災ボトル」や災害に関するものをツイートして、みなさんに知っていただくということも目的としています。

#### 4. 反応やリツイートについて

防災ボトルに関する反響としましては、「いいね」と「リツイート」で7万件ほどとなっています。「コンパクトで“100均”で揃えられそう、ためしてみたい」「巾着袋に入れて持ち歩いているが、ボトルもいいね」「出張や旅行のときにもいいかもしれない」「持ち出しや管理もしやすいし、防水性もあるので、ぜひためしてみたい」「薬が多いので、少し大きめのサイズのボトルに入れる」などが特徴的なところでしょうか。

また、「タオルやビニール袋は欲しい時にすぐ手に入らないのでいろいろな用途に使えるそう、私もやってみました」と写真付きでツイートしてくださる方もいました。

フォロワーが88万人を超え、みなさんからのご支持について、大変ありがたく感じています。フォロワーの方の思いはどういうものかなと考えたとき、ご自身やご家族を災害から守るための情報を求めている方が多いと感じました。期待をもってくれているのではないかと、その期待に応えなければならぬという警察としての使命感を持って、引き続き災害に関する身近な情報を発信して、より多くの都民・国民に災害への関心を持ってもらえるようなツイートをしていきたいと考えています。

#### 5. 自分で防災ボトルをつくる時のアドバイス

災害時に必要となるもの、たとえば非常用の飲み物や食べ物などをずっと持ち歩くことはできません。しかし、家の中にいる時より外で災害に遭遇する機会の方が多いので、持ち運びやすい、手軽に持ち出せるようなものを準備しておくとういのでしょうか。

災害時に必要なものは人それぞれ違ってきます。共通するものは非常食、食べ物はみな必要になります。また、夜いきなり停電になってしまった時、ライトがないと何もできませんので、懐中電灯は必要でしょう。自分にとって必要なものとしては薬があります。薬は人から借りるわけにはいきませんので、自分の常備薬、普段飲んでいる薬を用意しておくとういでしょう。また、めがねも人から借りられないものですので、準備しておくとういでしょう。みなさんそれぞれ工夫していただければと思います。

#### 6. その他簡単につくれる防災グッズ

一例を挙げると、「サラダ油で簡易ランプをつくる」「ツナ缶でランプをつくる」「段ボールで椅子をつくる」などが挙げられます。

警視庁のHPでこれまでに反響の大きかったものを紹介しています。ベストツイート集でまとめていますので、ご参考にしていただきたいと思います。

#### 《災害対策課ベストツイート集》

<https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/saigai/yakudachi/index.html>

\*\*\*\*\*  
警視庁警備部災害対策課のみなさん、取材に応じていただき、ありがとうございました。

### 2023年度用 実教出版の家庭科教材～資料集・成分表～

生活学 Navi 資料+成分表 2023  
AB判/392ページ 定価 920円(税込) 

ニュービジュアル家庭科 資料+成分表 2023  
B5判/360ページ 定価 860円(税込) 

ニューライブラリー家庭科 資料+成分表 2023  
B5判/360ページ 定価 860円(税込) 

※教師用ワークシート集(別冊)で先生をサポート～教師用ワークシート集の解答をWebで提供

オールガイド食品成分表 2023  
AB判/432ページ 定価 950円(税込) 

カラグラフィ食品成分表 2023  
AB判/240ページ 定価 770円(税込) 

基本マスター フード&クッキング レシピ+成分表 五訂版  
B5判/104ページ 定価 580円(税込)

 家庭科教材QRコードにより、スマホやタブレットから関連する動画をみることができます。